

令和4年度 事業報告書

法人の名称 特定非営利活動法人
ワーカーズ・コレクティブ
ケアびーくる

1 事業の成果

- 1) 単独では移動が困難な方々が外出することで生活の質を高められるよう、市民が持つリソースを発揮して互助の精神のもと参加型福祉の実現に務めました。
地域に不可欠なサービスの存続を図るため、参加者の拡大に努めました。

車を使つての介助付き移動サービスを福祉有償運送の制度の下で続けました。今、一番の課題はメンバーの高齢化、担い手不足です。依頼にはできるかぎり応えるようにしていますが、それでもお断りすることも多くなっています。社会の趨勢として、定年年齢の引き上げや生活のために働かなくてはならない人が多くなっている傾向にあり、メンバー拡充の模索は続きます。

- 新型コロナウイルスの感染拡大はピークを過ぎました。通院の利用は増加しているもののリフレッシュや買物付添などの利用はコロナ禍前と比べると減少傾向が続いています。利用実績は前年に比べ、微増でした。
利用会員の新規入会は多くあり、外出支援はますます必要とされているといえます。
- 限られた条件のなかで、ニーズにはできるだけ応え、年末年始も需要がある限り休むことなく活動しました。通院・入退院・通所・通学・ショートステイのほか、利用は控えられているものの買物やリフレッシュ・墓参・花見などの様々な依頼にも応えました。他に、定期的な透析や通所の利用がありました。
- 独居や高齢者のみの世帯など、手厚い支援を必要とする利用者が増えています。ケアマネジャーや地域包括支援センター、市の関係部署などとの連絡を密にとり、サービスを進めました。
- 正会員は加入が5名あり、一方、年度中に4名が退会し、3月末現在は40名です。日々の活動の参加者は27名（内、運転会員21名）です。
- 8月に市内で開催された「運転者講習会」を3名が受講し、内2名が入会しました。10年ぶりで運転会員に復帰したメンバーもいます。一方、70歳で入会して以来、丸5年主力の一人として活躍したメンバーが、2023年度初めに退会します。
- 他の仕事などとの掛け持ちや家族の介護のため、常時活動に参加できるメンバーが少ない状況が続いています。また、メンバーの年齢もあがってきて、腰痛などの支障も出てきており、車いすのままの複数体制での階段の上り下りも担当できるメンバーが限られています。
一方で、年度途中で体調を崩したメンバーもいましたが、無事復帰しています。
- 会所有の福祉車はリフト式のキャラバンが2台、ハイエースが1台、スロープ式のN-BOX

が1台の計4台です。持込セダンの登録は13台です。

- 物損事故が1件ありましたが、人身事故はありませんでした。

2) 利用しやすい移動サービスを実現するため、大和市・神奈川県・国との協働や他団体・他機関との連携をすすめました。

大和市とは引き続き協働事業を実施し、利用者など市民の方々に貢献しました。

- 協働事業を開始してから19年目（7期の1年目）となりました。
- 協働事業協定書にもとづいて、大和市からは引き続き、福祉車駐車場（4台分）およびストレッチャー等の保管場所、負担金の提供を受けました。
- 会存続のための喫緊の課題である、運転者の確保のための市主催運転者講習会と広報について、関係部署の会合でも窮状を訴え、意見交換をしました。しかし、未だ市主催の運転者講習会は実現していません。かながわ移動ネット主催の運転者講習会への市の会場提供は、例年同様来年度も行われます。
- 市社協の「やまと社協だより」10月号の1・2面に、長年の共同募金の取り組みなどによりケアびーくるの活動が取り上げられました。これがきっかけで2名の運転会員の入会がありましたが、条件が合わず、残念ながら活動参加には結び付きませんでした。また、「FMやまと」にも出演しました。
- 毎年の「広報やまと」への掲載のほか、「出張！ボランティア総合案内所」などで情報提供が行われました。
- 大和市福祉車両利用助成事業に関する受託事業を引き続き行いました。必要に応じ、担当課との調整を行っています。
- 市が設置している「大和市地域公共交通協議会」にケアびーくるから委員として参加し、福祉の視点から交通についての意見を述べました。
- 地域福祉の充実に関しては、以下の組織やネットワークに引き続き参加し、連携・交流を深めました。
 - ・コミュニティ・オプティマム福祉地域協議会 大和
 - ・神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会
 - ・神奈川ワーカーズ・コレクティブ協会
 - ・NPO法人かながわ福祉移動サービスネットワーク
 - ・NPO法人全国移動サービスネットワーク
 - ・大和市民活動センター
 - ・大和市社会福祉協議会

3) ニーズに沿った質の高いサービスが提供できるよう介助研修や共有に努めました。車両運行における利用会員の「安全と安心」を確保するため、安全運転と適切な運行管理に力を注ぎました。また、引き続き、感染対策に取り組みました。

ニーズにきめ細やかに対応できるよう、運行管理者、運転会員で情報共有を図ってい

ます。

常時心掛けている、利用者の「安全と安心」の確保はもとより、新型コロナ感染のリスクから身を守るための取り組みを実施しました。

新型コロナ感染症対策と対応について、昨年度に引き続き、利用者・メンバー双方の健康観察を行いました。

- 車を使つての活動はいつも神経を使います。加えてコロナ対策として、三密を避ける、車内換気、アルコール消毒、マスク着用等、できるだけ対応をしています。メンバーの一人ひとりが緊張感を持ち、かつ利用者の方々への共感を持って活動を進めました。
- 完全義務化の実施は延期されていますが、アルコール検知器を購入し、運転メンバー全員に配布し活用しています。
- メンバーが講習会や研修に参加、あるいは Web 会議に参加し、日頃のワークに生かしました。(安全運転講習会、学習会等)
- 運転に関して定年を定めたケアびーくるの内規に則り、70歳の節目で2名、73歳の節目で2名が外部の運転技能研修をそれぞれ受講し、運転業務を継続しています。
- 必要に応じ、ストレッチャーやフルリクライニング車いす、スマートレストなどの扱い、福祉車両の操作や車いす固定操作の再確認等の研修を個別対応で行いました。
- 福祉車走行中の車いす利用者の安全確保のために検討を進めていた、後付けのヘッドレスト「スマートレスト」については、申請した太陽生命厚生財団からの助成金を活用し、3台追加で購入して福祉車4台に備えることができました。
- 車いす使用時の安全のための固定ポーチと固定ベストを無償でいただき、活用しています。
- 冬季の安全確保のため、福祉車2台(新キャラ、N-BOX)にスタッドレスタイヤを装着しました。加えて、太陽生命厚生財団からの助成金を活用し、オールシーズンタイヤを購入しました(てのひら号)。
- 毎月定例会を開催し、安全で安心のサービス実現に向けて情報交換を行い、きめ細やかなサービス提供に努めました。受講した安全運転研修の内容やヒヤリハットの共有も図りました。
- 運行管理は6名のメンバーで担当しています。日ごろから連絡を密にとり、正確かつきめ細やかな対応ができるよう努めました。また、運行管理者会議を開催しました。
- 緊急時の対応のため、LINEの体制を整え、活用しました。

4) 今後の会の活動の存続を見据えた方策に引き続き取り組みました。

日々の活動に追われながらも、今後の会の存続を見据えて活動を進めてきました。

- 担い手拡大については、メンバーが常時、新しい仲間づくりを心がけました。メンバー募集に特化したリーフレットを作成し、運転者講習会で配布していただく等、活用しています。メンバー募集のポスター掲示も続けています。

- このままでは 3 年後には活動の継続が危ぶまれるとの危機意識のもと、会の基盤整備を図るために 1 月にライフフリー事業助成金に応募し、3 月に採択が決まりました。来年度に繋げていきます。
- 時宜を捉え、リーフレットやチラシを配布しました。
- 新たな料金体系を導入して 3 年目。利用者にとってもメンバーにとってもわかりやすい料金体系となり、定着しています。
- 今年 10 月に始まるインボイス制度も念頭に、料金見直しの準備を進めることにしました。
- 県の「福祉有償運送事業者燃料価格高騰等給付金」と「大和市原油価格・物価高騰対策中小企業支援対策給付金」に応募し、支給されました。
- イオンの黄色いレシートキャンペーンの贈呈を受け、事務用品などの購入に当てました。来年度も引き続き参加します。
- 福祉車に積載する車いすを 1 台、大和市社会福祉協議会より譲っていただきました。
- 年間を通じて経費削減に努めました。
- 中・長期計画は随時見直しました。
- 会所有の福祉車は、昨年度末に納車された新キャラバンのほか、N-BOX は 4 年目、てのひら号は 8 年目、ハイエースは 14 年目になります。

5) **理事会と定例会を毎月開催し、参加型で問題解決をはかるとともに、研修と共育に努めました。**

毎日の定期メールで情報を共有し、こまめな情報交換と問題解決に努めました。

- 理事会と定例会を毎月開催しました。保健福祉センターのほか、鶴間コミセン、生涯学習センターの会場も借りています。定例会はメンバー相互の情報交換の場とし、日々の問題点を共有するとともに、解決に向け話し合いました。
- 定例会の議事録をメールで活動メンバー全員に送信し、情報の共有化を図っています。

6) **地域への情報提供をおこないました。**

- 昨年 5 月と今年 1 月に「ケアびーくる通信」を発行し、利用会員や関係各部署に配布しました。利用会員からの投稿もいただき好評でした。
- ホームページの充実やブログならびにフェイスブックの更新に努めました。(ブログ更新：11 回)
- 朝日新聞の桜ヶ丘インフォメーションに広告を掲載していただきました(掲載：6 回)。これを見ての利用の申し込みもありました。
- かながわ移動ネット主催の運転者講習会に講師の派遣と福祉車の提供を行いました。(3 回)

2 事業内容

特定非営利活動に係る事業

① 外出介助等のサービス事業

ア ケア事業

- ・内容 通院入退院、通所通学、買い物等の外出介助および付き添いサービス
- ・日時 通年
- ・場所 大和市および隣接した市区
- ・従事者人員 27人
- ・対象者 移動制約者 292人（のべ利用者4126人）
- ・支出額 10,622,011円

イ 大和市福祉車両利用助成事業に関する受託事業

- ・内容 大和市福祉車両所施事業対象者における外出介助及び付添サービス
- ・日時 通年
- ・場所 大和市および隣接した市区
- ・従事者人員 27人
- ・対象者 移動制約者 69人（のべ利用者642人）
- ・支出額 3,397,957円

② 地域に向けて研修、啓発をはかる事業

- ・内容 ホームページの充実、ブログ更新（年11回）、facebookの更新
新聞折り込みチラシへの広告掲載（年6回）
かながわ移動ネット主催、運転者講習会に講師の派遣・車両の提供
（3回）
- ・日時 随時
- ・場所 大和市内
- ・従事者人員 8人
- ・対象者 移動サービスを受けたことのない方および、そのご家族
ワーカーズ・コレクティブの働き方に興味のある方
- ・支出額 47,784円

③ その他、この会の目的を達成するために必要な事業

※ 今年度はその他の事業を実施していません。